

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣研究報告書

2010年 10月 22日

申請者氏名（専門分野）	坂尻 彰宏 （ 東洋史学 ）
-------------	----------------

下記のとおり報告します。

記

研究テーマ	チベット支配期敦煌文書の編年研究
-------	------------------

派遣期間

2010年 7月 22日 ～ 2010年 9月 21日

	国	都市	訪問機関	受入研究者
訪問 研究 機関	連合王国	ロンドン	大英図書館（The British Library）	Frances Wood(漢語部門) Sam van Schaik(チベット語部門)

派遣先で実施した研究内容

19世紀末に中国甘粛省西部の敦煌近郊の石窟寺院莫高窟から発見された敦煌文書は、5世紀から11世紀におよぶ膨大な古文書史料群である。その多くは漢文文書であるが、敦煌が8世紀末から9世紀半ばまで古代チベット帝国（吐蕃）に支配されていたこともあり、多くのチベット文書も含まれている。

このうちチベット支配時期に作成された文書の多くは、編年による整理がなされず、研究の大きな障害になっている。この時代の文書には年号や十干十二支のような年代決定のための簡明な指標が存在せず、このことが文書の編年を拒んでいるのである。

そこで本研究では、チベット支配時期文書の編年のための指標を設定し、大英図書館のスタン=コレクションの敦煌文書を調査し情報を収集した。調査した文書は、チベット支配時期のものを中心に134件であり、うち漢文文書は102件、チベット文書は32件である。調査にあたって設定した指標は、①人名による指標、②制度による指標、③朱印による指標の三つである。

① 人名による指標

複数の文書にまたがって現れる人名を追跡することで得られるもので、同時期の文書や文書間の年代差を発見する一つの目安となる。調査では、人名を多く含む複数の関連する契約文書のグループ、帳簿、台帳類を中心に情報を収集した。

② 制度による指標

官職号や行政単位の変遷を骨格にしたもので、文書の年代の相対的な把握に有効である。調査では行政文書や裁判文書から制度の変遷に関する情報を抽出した。

③ 印章による指標

文書に押された印の印文、デザイン、押印方法に着目し、同じ印のある文書をグループ化し、使用のパターンを分析することは文書の作成時期を特定する助けとなる。調査ではチベット文の印を中心に細部の寸法を計測し、印文を解読して印の同定を進めた。

また、これらの指標は、多くの場合一つの文書あるいは文書のグループに複数含まれているので、それぞれの要素を整理し、複数の文書を比較して分析を進めた。たとえば、十数件の契約文書の集まりである S. (スタイン Stein の略) 1 4 7 5 文書には人名が多数出現するとともに、行政単位や土地税制に関する情報も含まれており、関連する帳簿や行政文書を参照しつつ分析を行なった。

さらに、漢文文書とチベット文文書との違いにとらわれず、三つの指標を中心に両者に共通する情報の把握を行なった。とりわけ IOL Tib J (旧インド省図書館蔵・チベット語・紙文書 India Office Library Tibetan) 1 1 2 6 文書のような公式のチベット朱方印を持つ文書については、朱印を詳細に調べるとともに、用語や内容の面で漢文文書から得られる情報と突き合わせた。

加えて、文書の原物の形態にも留意し、文字情報以外の要素も収集した。複数の料紙に共通する紙質の特徴や文書の接続の状態は原物を確認して始めて得られる情報であり、三つの指標に加えて分析の材料とした。

研究の当初の目的・計画の達成状況、明らかにできた成果

チベット支配時期の漢文・チベット文の公文書、手紙文書（私信）、契約文書、帳簿・台帳の主要なものは、ほぼ全て原物を調査することができた。また、チベット文文書では公私の朱印が押された文書をほとんど調査することができた。朱印の印文やデザインの観察から、同じ朱印を持つ年代不明の文書をグループ化し、編年作業のための材料とすることができた。さらに、漢文文書とチベット文文書との形態、書式、機能上の比較も原物を見つつ行ない、共通する点を確認することができた。こうした調査結果をまとめ、チベット支配時期の文書を暫定的に年代順に並べ、一覧表を作成した。完全な編年のためには、年代の近い文書のグループ内での相互の検討や更なる並べ替えが必要であるが、今後の検討のための基礎を構築することができた。

派遣後の研究発表の予定

派遣期間に調査した、チベット支配時代の行政文書に押された朱印の分類と同定結果について、2011年6～7月にフランス・パリで行なわれる国際学会 (Dunhuang et la Sérinde, Colloque international. 29 juin-1er juillet 2011, Paris, Collège de France) で発表する予定である。